

被爆者は 核兵器廃絶を 心から求めます

人類は今、破壊への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人びとを無差別に殺傷しました。真っ黒に焦げ炭になった屍、ずるむけのからだ、無言で歩きつづける人びとの列。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていきました。70年が過ぎた今も後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、私たちは生きぬいてきました。もうこんなことは、たくさんです。

沈黙を強いられていた被爆者が、被爆から11年後の1956年8月に長崎に集まり、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）を結成しました。そこで「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつづけてきました。被爆者の心からの叫びです。

しかし、地球上では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のない人びとが命を奪われています。核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。現存する1万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍にもおよびます。核兵器は、人類はもとより地球上に存在するすべての生命を断ち切り、環境を破壊し、地球を死の星にする悪魔の兵器です。

人類は、生物兵器・化学兵器について、使用・開発・生産・保有を条約、議定書などで禁じてきました。それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか。被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望

あなたとあなたの家族、すべての人びとを絶対に被爆者にしてはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

2016年4月

よびかけ被爆者代表

坪井直、谷口稜暉、岩佐幹三【以上、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）・代表委員】

田中熙巳【日本被団協・事務局長】、郭貴勲【韓国原爆被害者協会・名誉会長】

向井司【北米原爆被害者の会・会長】、森田隆【ブラジル被爆者平和協会・会長】

サーロー・セツコ【カナダ在住】、山下泰昭【メキシコ在住】

<この署名は、国連に提出します>

なぜ、生協は平和にとりくむの？

先の戦争では、生協も大きな被害を受けました。空襲により各地の生協施設が焼失したり、戦時統制により主要物資が配給制となり、職員は徴兵により不足するなど事業継続が困難になりました。また、生協が掲げていた「協同・互助」「反戦」は「危険思想」として弾圧され、多くの生協が活動停止や解散に追い込まれました。

戦後、全国の生協は「より良き暮らしの大前提は平和であってこそ」「平和とより良き生活のために」「平和の使徒たらん」と確認し、再スタートしました。

「原水爆の被害者は私を最後に・・・」

日本では、1954年ビキニ環礁での水爆実験で被ばくした久保山愛吉さんは「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」と言い残して亡くなりました。この事件をきっかけに、文字通り、草の根から全世界へ核兵器廃絶を求める運動が広がり、核兵器は徐々に削減されてきました。しかし、まだ世界には1万数千発の核兵器が存在し、人類の生存を脅かし続けています。

核兵器禁止条約が採択！

長年、被ばく者をはじめとした世界中での粘り強い運動の成果により、2017年7月7日、国連で「核兵器禁止条約」が採択されました。「核兵器のない世界」が一步、現実のものとなりました。

核兵器が廃絶されるその日まで署名などでアピールを続けましょう。



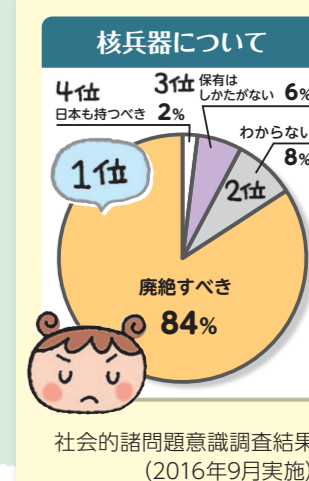
【毎日新聞2017年7月8日付朝刊】

生協はなぜ、この署名にとりくむの？

よどがわ市民生協では、2007年の総代会で「いのちとくらし、健康、環境を破壊する戦争に反対し、核兵器をなくす運動や平和憲法を守る運動をすすめる」ことを確認しました。

これまでも、よどがわ市民生協は組合員のみなさんと一しょに戦争の悲惨さと平和の尊さを学び・伝え、平和やくらしを脅かす動きについて

は反対の声をあげてきました。また、毎年秋に行っている「社会的諸問題意識調査」では84%の組合員が「核兵器は廃絶すべき」と回答しています。



国連総会議場入口に設置されている「核兵器廃絶を求める署名」のタワー

署名の提出方法

- 裏面の用紙に署名します。
- この面を外側にして2つ折りします。
- この用紙を配送時に注文書と一緒に担当者に提出してください。



インターネットからも
署名できます

